

## 令和4年度 英語教育改善プラン推進事業 有識者会議

- 会議の目的  
これまでの事業成果や英語教育実施状況調査等の結果を踏まえ、本道における英語教育推進の方向性を明確にし、今後の取組の充実を図る。
- 実施期日  
令和5年（2023年）2月17日（金）
- 有識者
  - ・ 北海道教育大学札幌校教授 萬谷 隆一 氏
  - ・ 東神楽町教育委員会教育推進課主査 山下 真悟 氏
  - ・ 千歳市立富丘中学校校長 堀田 裕之 氏

### 〔義務教育課からの説明〕英語教育改善プラン推進事業の概要について

本事業では、本年度、英語教育改善プランに示した目標指標の達成に向けて「児童生徒の英語力向上」「英語担当教員の指導力向上」「英語担当教員の英語力向上」の3つの取組を推進してきました。

特に、「児童生徒の英語力向上」では英検IBA、ESG、「英語担当教員の指導力向上」では年間を通じたE-Lineセミナー及びE-Netコミュニティの運用、「英語担当教員の英語力向上」では英語力ブラッシュアップセミナー受講等を要件とした外部検定試験検定料補助などの取組を推進しました。

上記説明を踏まえ、今年度の事業について協議を行い、有識者から意見を伺いました。

（※○：成果に係る意見 ●：今後の課題に係る意見）

〔協議①〕英語担当教員の指導力、児童生徒の英語力の向上について

〔協議②〕英語担当教員の英語力の向上について

#### 【児童生徒の英語力に関連して】

- 端末を活用し、書く活動を積極的に行ったことにより、他者の考えを参考にして主体的に学習するなど、協働的な学びの広がりが見られている。
- デジタル教科書を積極的に活用したことにより、学習内容の理解が一層図られている。
- 英検 ESG 及び IBA は、リスニングとリーディングの状況を把握するものであることを踏まえた上で、指導や学習の改善に生かす必要がある。

#### 【英語担当教員の指導力に関連して】

- 小学校への乗り入れ授業を実施したことにより、中学校教員の指導力の向上が図られている。
- 英検 IBA の結果を教育委員会と学校が共有したことにより、両者の連携の充実や授業改善につながっている。
- E-Net コミュニティの実践資料を活用したことにより、各学校の授業改善につながっている。
- 小学校における英語の授業改善に向け、客観的指標の1つとして英検 ESG の結果を活用する必要がある。
- 小学校での「聞くこと」「話すこと」の学習を踏まえた中学校での「書くこと」に係る指導の充実が必要である。
- 各学校における学習評価を一層充実させる必要がある。
- 改めて英語教育における「言語活動」の意味について、共通理解を図る必要がある。

#### 【英語担当教員の英語力に関連して】

- 英語力ブラッシュアップセミナーに参加したことにより、オールイングリッシュでの授業イメージの理解が図られている。
- オンデマンドやオンラインを活用した研修を実施したことにより、教員の英語力等に係る研修時間の確保につながっている。
- 教員が身に付けた英語力を活用し、英語を使用して児童生徒に問いかけたり、やりとりしたりする指導力の向上を図る必要がある。
- 動画資料を含む言語活動の充実や、指導と評価の一体化に向けた授業改善に資する資料を共有する必要がある。
- 校種間連携の促進に向けた教員間の情報交換、共有を促進する必要がある。
- 資格取得に向けた教員の研修意欲向上の取組を一層推進する必要がある。

## 令和5年度の取組の見通し

### ◎小中高の教員による「指導力向上ネットワーク」の構築

小・中・高等学校の教員がオンラインを活用し、実践交流、好事例の発信・共有等を図る体制を構築し、英語担当教員が指導力や英語力の向上に資する情報を共有できるようにする。

### ◎共通テーマに基づく実践と成果の普及

次の内容をオンライン研修等で扱い、参加した英語担当教員が実践することにより、その成果を全道に普及する。

- ・ 指導と評価の一体化に係る理解を深め、効果的なパフォーマンステストの在り方
- ・ 児童生徒の英語力や興味・関心を高める ICT を活用した言語活動の充実
- ・ 学習到達目標を児童生徒や保護者と共有する「CAN-DO リスト」の活用
- ・ 児童生徒の英語力の向上を図る「英検 IBA、ESG」の結果等を活用した授業改善